

おりじなる

2016年10月07日

注文していたキャップが届いた。



既製品では満足できないお馬鹿さんゆえ、ゼロの数が増えない限りは、こうなる。

ちょっと高くなったくらいで他人と違うものが手に入るなら、全然オッケー。

(モチーフというか、元のイメージはコチラ↪)



ストーリーの始まりは25年前ですか。四半世紀っていうヤツですね。遠い思い出の日々、旧デザインへのオマージュが、今回、別のパロディに置き換わって台無し（笑）

一昨年秋、雨の中ボロボロの相棒を一日かぶったのが最後。その日の例会では優勝し、Facebookでも思い入れたっぷりの長文を投稿した割には、その後に捨てたのか紛失したのか不明。記憶が無い。人間なんていい加減なもんですな。



だいたい、そんなに帽子好きってワケじゃ無いんだけど、子供の頃からのメガネマン（すでに老眼）ゆえに雨の日は要る、という。隙間のある麦わらでも効果絶大。



(昨夏から常用の麦わらは、三平くんギャグで始まっただけ。マンガと違い、さすがに冬はね。。)

こういう遊び方をしていると、常々、オリジナルってなんだろう、と考える。批判的な見方をする人や、熱烈なファンにとっては、僕が何を言ったところで、模倣する側に立つ者の言い訳にしかならないが、オリジナルなんかこの世に無いんだ、と思っている(笑) ←海賊版を肯定、推奨するものではないです

釣り方やタックルなんかもそうで、元祖だの新しいだの言う前に、よく調べなさい、と。先人が大昔に同じこと言ってたよ、とね。もっと言えば、その道で自他共にオリジネーターと認める存在も、真の意味でオリジナルかどうかは微妙だ。なぜなら、人は何かしらの影響を受けて育つ。人はひとりでは生きられない以上、究極を言えば、何かを独自に編み出すことは不可能。自分のアタマで考えなければ、と意識しつつも、自分のアタマで考えていない可能性も素直に認める。そんな生き方が無難だろう。

アレもコレもつまむ生き方は無理。世界中の悩みを一人で背負うのは中二な若者で良い。世間のニュースにいちいちガチで向き合う必要はなくて、へーそうなんだ、そんなことがあったんだ、くらいで留めておいても良いと思うんだよね。身の丈に合わない夢を見ることに罪は無いが、裁判官になる必要も無いので。無関心は無知より罪が重いとよく言うし、自分でもそう考えて来たけれど、知らず洗脳されるくらいなら、意図的な情報鎖国はアリだとも思う、今日このごろ。